



富士学校 AASAM 訓練隊



Australian Army Skill At Arms Meeting 17



世界最高峰の練度により 歴代最高の成績を獲得

陸上自衛隊富士学校(学校長徳田陸将)は、平成29年度豪州射撃競技会「AASAM17」の訓練担任を命ぜられ、オーストラリア陸軍主催の射撃競技会に参加し、歴代最高の成績で訓練を終了した。

昨今の戦訓を反映し、劇的に変化した本AASAM17は、日本隊が「主役」とも言える大会となった。各方面隊等からの多大な支援を受け、準備を整えた日本隊は、海外という不慣れた環境に物怖じせず明るく団結し大会に臨んだ。そして変化した競技内容には日本人特有の柔軟性で対応し、各射場では他国軍の兵士、豪軍勤務員等から称賛を受けるとともに、これまで「絶対王者インドネシア」に向けられていた羨望の眼差しが一気に日本隊に向けられるようになった。毎回特定選手で参加するインドネシアに対し、狙撃の部では約250点差をつけての国際総合第1位を獲得、国際マッチの部では、僅か6点差まで追い詰め、「実質の世界」たる成果を獲得した。AASAM18での「真の世界」に王手を掛けた日本隊は謙虚さを失わず「主役」のまま帰国の途についた。

どの国よりも団結し、どの国よりも射撃目標を倒した「実質の世界」たる快挙

○国際マッチの部総合第2位(18カ国20チームが参加・過去最高第5位)

○小銃団体総合第2位(18カ国20チームが参加・過去最高第5位)

○機関銃団体総合第1位(18ヶ国20チームが参加・過去最高第5位)

○分隊戦闘射撃第1位(16ヶ国17チームが参加・過去最高第4位)

○狙撃の部総合第2位(13ヶ国23チームが参加・過去最高第1位)

○狙撃国際総合第1位(12ヶ国14チームが参加・過去最高第1位)

長射程対応の狙撃銃の使用が認められ、地元豪軍が9コチームを送り込んできた中で、改めて陸自狙撃のスキルの高さを世界に知らしめた。



1人が3コ火器(小銃・拳銃・機関銃)を射撃し、射撃の状況(シナリオ)が直前に伝達される「対応力が求められる実戦的な射撃」が増加したため、柔軟性のある日本隊の実力が際立った大会となった。



世界一団結し、各国軍から尊敬された「最高のチーム」による今回の成果は、各方面隊等から支援を受けて編成した指導部によりもたらされた。

